

# 公募の流れと 採択事例の動向

国立研究開発法人 建築研究所

1

## 公募の流れ

本先導事業は、  
“提案公募”と  
“補助金交付”の  
二段階の手続きを経て行われる。

公募期間：

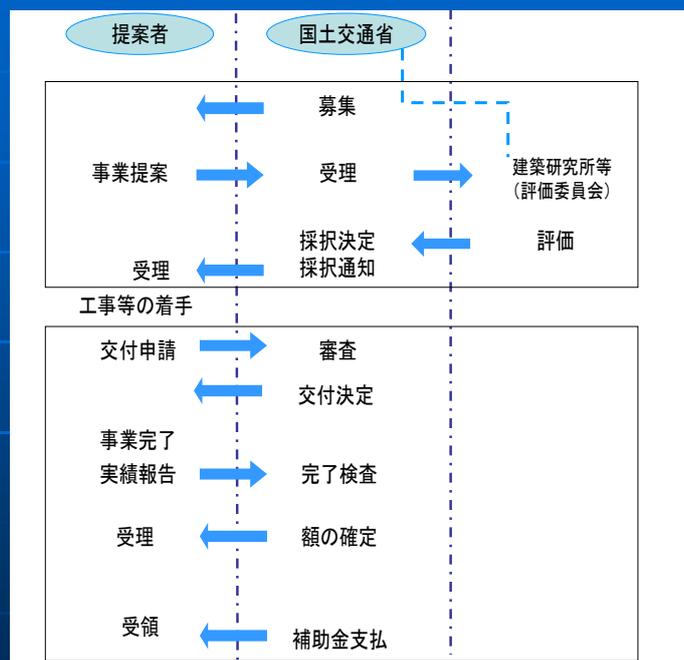
平成28年5月16日(月)

～ 平成28年6月24日(金)

採択時期：

平成28年8月下旬～9月上旬

(採択後に工事着手などが可能)



2

# 公募の流れ

## サステナブル建築物等先導事業(省CO<sub>2</sub>先導型)

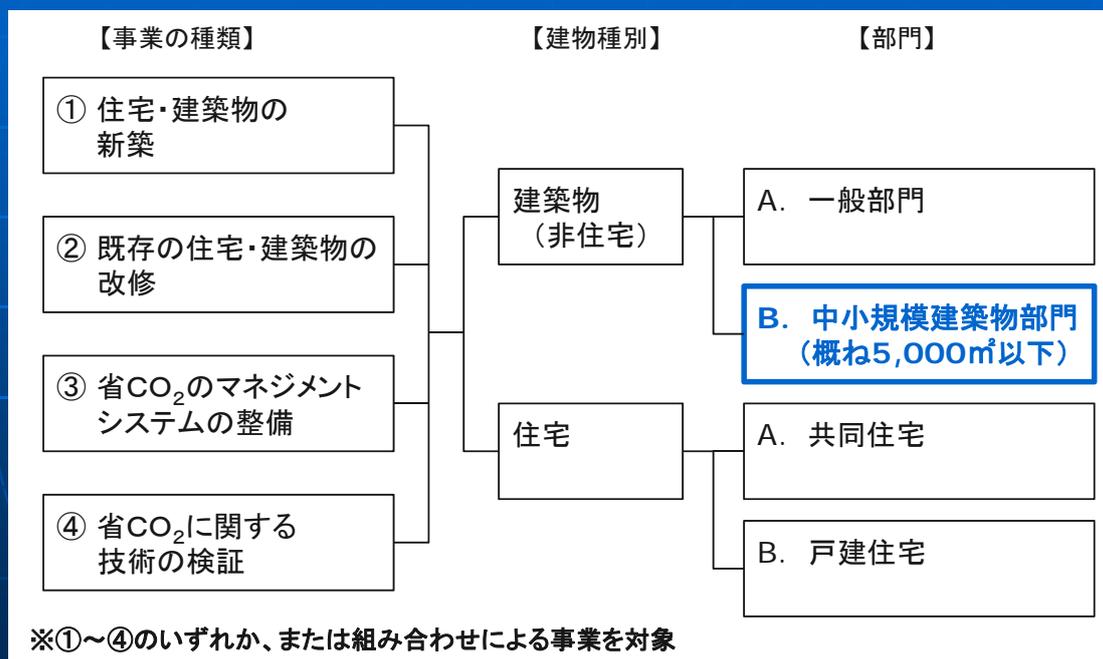
- 省CO<sub>2</sub>の実現性に優れたリーディングプロジェクトとなる住宅・建築プロジェクトを公募し、採択された事業に対して補助を行うもの。
- 国立研究開発法人 建築研究所は、学識経験者からなる評価委員会を設置。
- この評価委員会が応募提案の評価を実施。

3



# 公募の流れ

応募者は、該当する"事業の種類"及び"建物種別・部門"を選択して提案。



4



# 公募の流れ

## 中小規模建築部門の概要

趣旨： ・ 新築・既存建物の相当程度の割合を占め、今後の省エネ・省CO<sub>2</sub>対策の波及・普及が期待されている中小規模の建築物における省エネ・省CO<sub>2</sub>対策の促進を支援するもの。

対象： ・ 延べ面積が概ね5,000m<sup>2</sup>以下の建築物\*。  
・ 省エネ基準を超えた省エネ性能を実現する省エネ・省CO<sub>2</sub>対策に加え、中小規模建築物における省エネ・省CO<sub>2</sub>対策の促進につながる取り組みを評価。

\* 最大で1万m<sup>2</sup>未満の建築物までを想定

\* 一般部門とは区分し、規模に応じた取り組みを評価。

5



# 公募の流れ

## 優先課題 (下線部分が、H27年度に一部見直された内容)

- 「課題1. 街区や複数建築物におけるエネルギー融通、まちづくりとしての取り組み」
- 「課題2. 非常時のエネルギー自立と省CO<sub>2</sub>の実現を両立する取り組み」
- 「課題3. 被災地において省CO<sub>2</sub>の推進と震災復興に資する取り組み」
- 「課題4. 地方都市などでの先導的な省CO<sub>2</sub>技術の波及・普及につながる取り組み」

優先課題に対応する取り組みの積極的な応募を求める。

(H27年度から、優先課題に必ずしも対応していない提案でも応募は可能)

6



# 公募の流れ

## 評価方法

- 学識経験者からなる評価委員会が評価を実施。
- 評価委員会の下に  
「省エネ建築・設備」「エネルギーシステム」  
「住環境・まちづくり」「生産・住宅計画」  
の4つの専門委員会を設置。
- 提出された応募書類に基づき書面審査を行った後、各専門委員会によるヒアリング審査(7月下旬～8月上旬)等を経て作成された評価案をもとに、評価委員会において評価を決定。
- 必要に応じて提案者に追加資料請求等を併せて実施。

7

# 採択事例の動向

“全国で展開される省CO<sub>2</sub>の取り組み  
— 住宅・建築物省CO<sub>2</sub>先導事業事例集 —”

- 「住宅・建築物省CO<sub>2</sub>先導事業」で得られた知見を幅広く情報発信し、取り組みの更なる波及・普及を図るため、採択事業(平成20～26年:約190のプロジェクト)の中から地方都市を含む全国での特徴的な取り組みを進める45のプロジェクトを事例集にとりまとめ、プロジェクトの概要、導入された省CO<sub>2</sub>技術の特徴などを紹介している冊子。
- 採択事例は、いずれも他の見本となる優れた技術や工夫を実現しており、今後の省CO<sub>2</sub>建築を考えるヒントとなる。

8

# 採択事例の動向

本冊子では、今後のプロジェクトを計画する際の参考として、全国に省CO<sub>2</sub>の取り組みを波及・普及する上で期待される6つのテーマを設定している。

- ① 複数建物・街区での取り組み[複数建物・街区]
- ② 地方や郊外での取り組み[地方・郊外]
- ③ 既存ストックでの取り組み[既存ストック]
- ④ 賃貸建物での取り組み[賃貸]
- ⑤ 省エネ行動促進への取り組み[省エネ行動]
- ⑥ 健康性等のコ・ベネフィットへの取り組み[コ・ベネフィット]

【①～④は建物の用途や立地等の特性、⑤～⑥は波及・普及に向けた取り組み】

# 採択事例の動向

**建物名称**

**採択時の事業名称等**

**取り組みの全体概要**

**建物諸元**

**取り組みテーマ:**  
他のプロジェクトの参考となる**主な特徴**

**複数事業者・街区の一体的な取り組みと持続的なマネジメントシステムの構築**

**グリーンフロント大坂**

複数事業者が共同で複合施設「グリーンフロント大坂」を一体的に開発・運営する取り組み。大規模複合施設「グリーンフロント大坂」を一体的に開発・運営する取り組み。大規模複合施設「グリーンフロント大坂」を一体的に開発・運営する取り組み。

**省CO<sub>2</sub>の主な取り組み**

- 複数事業者による複合施設内での一体的な取り組み
- 複合施設内での一体的な取り組み
- 複合施設内での一体的な取り組み
- 複合施設内での一体的な取り組み
- 複合施設内での一体的な取り組み

**MEMO:**  
紙面内で伝えきれない取り組みの工夫点や特徴的な内容等を記載しています。

**建物用途**

（リニア新幹線の発着駅）

（ヒートアイランド対策）

# 採択事例の動向

## ① 複数建物・街区での取り組み[複数建物・街区]

(例: エネルギー融通、面的利用、まちづくり 等)

省CO<sub>2</sub>技術は建物単体で導入されることが多いものの、複数建物や街区単位で、効率的なエネルギー利用や電力システム全体の効率化・平準化なども求められている。



広島ナレッジシアパーク [平成27年度 第1回]

11

# 採択事例の動向

## ② 地方や郊外での取り組み[地方・郊外]

(例: 地方の顔となる庁舎、病院、新聞・金融機関 等)

地方都市や郊外では、都市部に比べて一定規模以上の建築物の建設は限られているものの、地域のシンボルとして波及・普及効果が期待され、今後も地域や郊外での取り組みが求められている。



大崎市民病院 [平成23年度 第3回]

12

# 採択事例の動向

## ③ 既存ストックでの取り組み[既存ストック]

(例: 事務所、共同住宅の改修 等)

既存ストックを改修して省CO<sub>2</sub>化を図ることは技術的、工法的にも新築より難易度が高く、さまざまな工夫が求められている。



北電興業ビル [平成23年度 第1回]

13



# 採択事例の動向

## ④ 賃貸建物での取り組み[賃貸] (例: テナントビル、賃貸住宅 等)

自社ビルや持ち家では自己資金に応じて省CO<sub>2</sub>の導入が図られているが、テナントビルや賃貸住宅での省CO<sub>2</sub>の推進が遅れている。賃貸物件での取り組みは先導性が高いものとなっている。



低燃費賃貸丸亀 [平成26年度 第2回]

14



# 採択事例の動向

## ⑤ 省エネ行動促進への取り組み[省エネ行動]

(例:見える化、インセンティブ付与、環境学習 等)

省CO<sub>2</sub>技術の導入にあわせて、利用者や居住者がエネルギーを効率的に活用する行動を促す仕組みを取り入れることも重要なテーマとなっている。



コイズミ緑橋ビル [平成27年度 第2回]

15



# 採択事例の動向

## ⑥ 健康性等のコ・ベネフィットへの取り組み[コ・ベネフィット]

(例:健康性、知的生産性、BCP、コミショニング、施工の合理化 等)

非常時の対応やまちづくりとの連携、地域の活性化など、省CO<sub>2</sub>技術の導入とあわせて、多様な効果・効用を生み出す取り組みも重要なテーマとなっている。



東関東支店 [平成27年度 第1回]

16



# 採択事例の動向

配布資料で紹介しきれなかった採択プロジェクトの  
取り組み・技術紹介は、国立研究開発法人 建築研究所  
「住宅・建築物省CO<sub>2</sub>先導事業」サイトから閲覧ができる。

- 平成20～21年度資料(建築研究資料No.125)
- 平成22～24年度資料(建築研究資料No.164)
- 平成25～26年度資料(第15回 住宅・建築物の省CO<sub>2</sub>シンポジウム資料)
- 「住宅・建築物省CO<sub>2</sub>先導事業」シンポジウム資料

【これらの資料は、配布資料にダウンロードできるURLを記載。】

